



# 平和首長会議ニュース

2020年10月 / 第130号

**平和首長会議加盟都市数**  
 164 か国・地域 **7,961** 自治体  
**加盟都市数 10,000 都市を**  
**目指しています！**  
 日本国内加盟自治体数：1,733  
 (2020年10月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！  
 ● ウェブサイト：  
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>  
 ● フェイスブック：  
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>  
 ● ツイッター：  
<https://twitter.com/Mayors4Peace>  
 「いいね！」をお待ちしています。

## <<今号の内容>>

- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2020 の作品を募集しています！
- ◆小泉事務総長が加盟拡大への協力を求めるため2か国の大使館を訪問しました
- ◆未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 164 か国・地域 7,961 自治体
- ◆各地で「国際平和デー」(9月21日)記念行事が実施されました
- ◆「ヒロシマ平和行政実務者研修」(来年1月)の参加者を募集しています
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について

## ■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2020 の作品を募集しています！

平和首長会議では、行動計画(2017年-2020年)に重点取組事項として掲げた「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施」の一環として、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト 2020 を実施し、参加作品を募集しています。多くの加盟都市からの作品をお待ちしています！

- 募集部門：①「6歳～10歳の部」  
②「11歳～15歳の部」
- 応募点数：1都市につき各部門5作品まで
- 提出期限：令和2年(2020年)11月20日(金)
- 作品提出・問い合わせ先：  
(Email) [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

▶ 絵画コンテスト2019の最優秀賞・優秀賞受賞作品



▼絵画コンテストの詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご確認ください。

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2020\\_Art\\_Competition.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2020_Art_Competition.html)

=====  
**■小泉事務総長が加盟拡大への協力を求めるため2か国の大使館を訪問しました**  
=====

10月15日、小泉平和首長会議事務総長は、都内にあるアルゼンチン共和国及びノルウェー王国の大使館をそれぞれ訪問し、大使と面会しました。

面会では、事務総長より平和首長会議の概要や取組を紹介するとともに、両国より長年平和首長会議の活動に対し協力を得ていることに感謝を述べ、両国における更なる加盟都市の拡大のため、未加盟都市に対し、引き続き加盟を呼び掛けることへの協力を要請しました。

両大使共に、平和首長会議の活動に深い理解を示されました。アラン・クラウディオ・ペロー駐日アルゼンチン特命全権大使は、「アルゼンチンの加盟都市数は100都市を目前としているが、200都市の加盟を目標に今後も加盟拡大に取り組んでいきたい。」と述べました。また、インガ・M・W・ニーハマル駐日ノルウェー特命全権大使は、「100を超えるノルウェーの都市がすでに平和首長会議に加盟していることは驚きだった。ノルウェーは政府として自治体の活動に直接介入することはしないが、今後も加盟都市が増えるよう自治体に協力を働き掛けることはしていきたい。」と述べました。このように両国共に、引き続き平和首長会議の取組に対し、協力したいとの意思を示され、会談は有意義なものとなりました。

平和首長会議では10,000都市加盟を目標として積極的に加盟都市拡大を推進しています。今後も各国の未加盟都市に対し、大使館を通じた働き掛けを継続して行う予定です。



ペロー駐日アルゼンチン大使との面会



ニーハマル駐日ノルウェー大使との面会

=====  
**■未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！**  
=====

平和首長会議では、「核兵器のない世界」の実現に向けた更なる国際世論の醸成・拡大を目的に、10,000都市加盟を目指しています。

加盟拡大をより一層推進するため、未加盟都市への呼び掛けにより加盟につながった好事例を紹介します。

◆オランダ国内での活動紹介

被爆75年の今年、2012年に加盟したヴァーヘニンゲン市のGeert van Rumund市長が、6月にオランダ国内の218の未加盟都市に対して平和首長会議への加盟呼び掛けを行いました。新型コロナウイルスという市民社会を脅かす脅威と同様に、核兵器の脅威に対しても都市が連帯して行動していく大切さを訴える書簡をメールで送ったところ、10月1日までに新たに10都市が平和首長会議に加盟する運びとなりました。

本コーナーで紹介する事例を参考に、同国内の未加盟都市や姉妹・友好都市等交流関係のある未加盟都市に是非加盟の働き掛けをお願いします。呼び掛けの際にご活用いただける加盟要請書類(10か国語)は以下からダウンロードできます。

▼加盟要請書類一式

URL: <http://www.mayorsforpeace.org/jp/outlines/join.html#section01>

事務局では、未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を随時募集します。他都市の参考になるよう、メールマガジンでご紹介しますので、皆さまからの情報提供をお待ちしております。

=====  
**■平和首長会議加盟自治体数: 164 か国・地域 7,961 自治体**  
 =====

10月1日付で、7自治体が加盟し、加盟自治体数は7,961となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市数	合計	備考
ヨルダン	1	12	アンナーブ駐日大使及び同国外務省等の呼び掛けにより加盟。
ベルギー	2	395	副会長都市及びリーダー都市のイーペル市の呼び掛けにより加盟。
ドイツ	1	697	副会長都市及びリーダー都市のハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
オランダ	3	161	同国内の加盟都市の呼び掛けにより加盟。

▼10月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03\\_newmembers/2020/newmembers2010\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2020/newmembers2010_jp.pdf)

▼加盟都市数一覧(国・地域別)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/07_membership_by_country_jp.pdf)

=====  
**■各地で「国際平和デー」記念行事が実施されました**  
 =====

[2020年9月21日]

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。平和首長会議はこの趣旨に賛同し、全ての加盟都市に記念行事開催を呼び掛けています。この呼び掛けに応じて、世界各地の自治体で記念行事が実施されました。

国内からは、[広島市](#)に加え、[浦安市](#)（千葉県）、[高山市](#)（岐阜県）、[本巢市](#)（岐阜県）、[宝塚市](#)（兵庫県）及び[長崎市](#)（長崎県）から行事の報告をいただきました。海外からは、[西オーストラリア支部](#)、[ベルギー・イーペル市](#)、[イラン・イスファハーン市](#)及び[英国・アイルランド支部](#)から行事の報告をいただきました。



国内の記念行事の様子：(左上から時計回りに)浦安市、宝塚市、高山市、長崎市、広島市（写真提供：各都市）

ありがとうございました。平和首長会議ウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。（海外分は全て英語）

▼「国際平和デー」記念行事の開催について(平和首長会議ウェブサイト)：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/200921\\_news.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/200921_news.html)

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、行動計画(2017年-2020年)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。行事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

▼平和首長会議行動計画に基づく都市別の取組実施都市等一覧(海外・9月分):

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/04\\_list\\_of\\_activities/monthly/2020\\_September\\_List\\_of\\_Activities\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/04_list_of_activities/monthly/2020_September_List_of_Activities_jp.pdf)

=====  
**■「ヒロシマ平和行政実務者研修」(来年1月)の参加者を募集しています**  
**ー必要経費(旅費・宿泊費)の一部を支援ー**  
=====

平和首長会議では、「広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年『平和と交流』支援事業」の一環として、来年1月の2日間、「ヒロシマ平和行政実務者研修」を実施します。平和首長会議国内加盟都市の若手職員に広島において、被爆の実相と被爆者の思いを理解してもらい、その経験を基に、所属自治体での平和への取組を推進してもらうことを目的とした研修で、参加者に対し、必要な経費の一部を支援します。応募条件、支援内容等、詳しくは募集要項をご覧ください。

- 実施日: 令和3年(2021年)1月21日(木)、22日(金)
- 内容: 被爆の実相の学習、平和推進事業の企画立案等
- 募集人員: 10名

▼募集要項(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/01\\_HPS\\_2020\\_Program.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/01_HPS_2020_Program.pdf)

▼申込期限:

令和2年(2020年)11月24日(火)

※昨年度の実施については平和首長会議のホームページに掲載しています。

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019\\_HPS\\_result.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019_HPS_result.html)

▼提出書類:

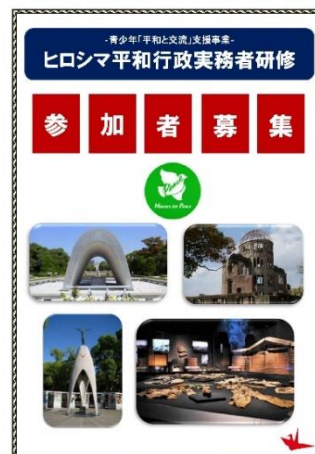
1. [支援申込書\(様式1\)](#) (加盟自治体が作成)
2. [志望理由書\(様式2\)](#) (支援対象者が作成)

▼問合せ先:

平和首長会議事務局

Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

TEL:082-242-8872 FAX: 082-242-7452



昨年度の研修の様子

=====  
**■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください**  
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th\\_meeting/Action\\_Plan\\_2017-2020\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf)



9月30日にマレーシアが、続けて10月12日にツバルが核兵器禁止条約を批准し、批准国数が47か国となりました。いよいよ、あと3か国の批准で発効が確定します！同条約を広く浸透させ、核兵器廃絶の推進力とするために、今後も署名・批准国の一層の拡大を図っていくことが重要です。上記の署名活動へのご協力をお願いします。

なお、2019年11月、ハノーバー市において開催された第11回平和首長会議理事会において、2020ビジョンの最終年である2020年に、行動計画に掲げている以下の3項目に重点的に取り組んでいくことが決定されています。

- ① 「核兵器禁止条約」の発効等の平和首長会議の目標の達成に向けた加盟都市の拡大  
→具体的な取組については[こちら](#)
- ② 次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施  
→具体的な取組については[こちら](#)
- ③ 広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年「平和と交流」支援事業等の充実  
→具体的な取組については[こちら](#)

=====  
**■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています**  
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO 等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

TEL:082-242-8872 FAX: 082-242-7452

=====  
**■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

▼TEL: 082-242-8872 FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====  
**■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第72回)**  
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

2021年は、国連で採択された核兵器禁止条約の発効年として歴史に刻まれることが確実にありそうです。すでに、被爆者や市民の間の機運も高まっているように感じられます。9月21日は国連が定める国際平和デー、26日は、核兵器の全面的廃絶のための国際デーでした。広島からも、市民が世界の平和と核兵器廃絶を願い、さまざまな形でメッセージを発信しました。

米国と広島を結ぶ取り組みもありました。広島市内に住む被爆者の田中稔子さんは、七宝作家でもあります。米国にある枯山水庭園の庭師から依頼され、平和をイメージした砂紋をデザインしました。国際平和デーに合わせて、米国内5カ所の庭園で砂紋引きされました。

被爆者と海外の市民による、地理的な距離を乗り越えての共同作業です。特に新型コロナウイルスの感染拡大が日本以上に深刻な米国では、実現まで困難な道のりがあったといえます。来年以降も続けて、被爆者の平和への思いを表現していきたい、と米国側の関係者は話しています。

5カ所の庭園の砂紋引きの様子を、北米日本庭園協会がまとめた映像作品で見ることができます。<https://youtu.be/3UDofdJrokE> 全編英語ですが、たとえ英語が分からなくても、関係者の平和への思いが言葉を超えて伝わってきます。

関連記事は次のアドレスで読めます。

コベントリーから「友好証書」「平和と和解」街づくりを進める英国都市 市民の会 広島市長に届ける  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=101082>

[ヒロシマの空白 被爆 75 年 街並み再現] 写真が刻む被爆前の慈仙寺  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=101029>

岩佐幹三氏死去 91 歳 被団協元代表委員  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=100860>

平和の願い 世界中に 高校生大使 広島代表 3 人誓う  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=99651>

被爆体験 語り継ぐ 広島市の「伝承者」9 期生研修開始 「証言者」は初めてゼロ  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=101218>

被爆者発 米庭園に砂紋 広島の中田さん デザイン  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=100838>

=====  
**■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について**  
=====

平和首長会議では、第 9 回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



\*\*\* 本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください \*\*\*

**平和首長会議事務局**

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5  
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020 ビジョン推進課  
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

**【平和首長会議公式SNSアカウント】**

〈ツイッター〉   
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉   
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！